

## 準備する人・もの

### 《人》

#### ・進行役

全体の進行役のほか、グループで話し合う時の進行役もグループの数だけ必要です。グループ分けをしたあと、グループの中の一人を進行役にする方法もありますが、参加者は「他のパパと話したい」という気持ちが大きいので、あまりお勧めできません。

#### ・話題提供者

受講者のパパ・子どもよりもちっと上世代で、子育てに積極的に関わっているパパに、「私はこんなきっかけで子育て積極パパになりました」を語っていただきます。

でも、「子どもが赤ちゃんの時から『子育て・家事』積極パパです」という方は少ないかもしれません。そこで、山歩きなどの趣味を子どもと一緒にするようになった、子どもがソフトボールチームに入って保護者応援団にはまった、というような、「赤ちゃんの時はあまり子育てしていない」パパもお勧めです。

また、遊びや精神的な発達など専門的な視野からのアドバイスが必要な場合は、専門家に依頼しましょう。

地域や職場の人脈で探すのもいいし、県や市町村の子育て支援担当課、公民館、自治会、NPOなどに相談してみるのも一つの手です。

#### ・託児スタッフ

地域の託児ボランティアグループや、保育サポーターなどに依頼できます。もちろんベビーシッター会社も利用できます。(ボランティアでも有償がほとんどです。託児中の事故に対して保険が付いているかを必ず確認しましょう)

### 《もの》

#### ・名札

ガムテープに名前を書いて貼るだけでもOK。特に、子どもと一緒に何かする場合は、名札が子どもの顔に当たる心配がないガムテープ名札が安全です。



#### ・付せん・模造紙

グループに分かれていきなり話すというのも、人によっては難しいものです。そこで、自分の考えを付せんに書いて、それを模造紙に貼りながら話すようにすると、記録にもなっていていいですね。

#### ・マジック

名前を書くのも、黒だけとは限りません。まず名札から個性を発揮できるように、何色かあるといいですね。付せんや模造紙に書くときにも使います。

#### ・レジュメ・ワークシート

進行の流れが分かるレジュメや、ワークシートなどがあると、会議資料に慣れている男性にとっては安心感があるようです。

#### ・筆記用具

お子さんを連れてくるための準備だけで精一杯で、筆記用具を持ってくるのを忘れてしまうパパも少なからずいます。